

# 議会報

# 飯南

いinan

第46号  
平成28年7月20日

- 02 6月定例会  
可決された主な議案 陳情
- 03 参議院選挙制度に対する意見書  
平成28年度一般会計補正予算
- 04 一般質問
- 09 討論 採決の結果
- 10 常任委員会報告  
議会活動報告  
議会全員協議会の議題
- 12 明日を拓く



# 6月定例会終わる

6月7日から17日までの11日間の日程で開きました。

4月、突然の地震に見舞われ、甚大な被害を受けた熊本・大分両県の皆様をはじめ、関係された方々にお見舞い申し上げます。

全国には調査されていない活断層が無数に存在し、本町もいつこのような災害に見舞われるかわかりません。このような中、飯南町防災行政無線が整備されることになり、屋外スピーカーを通して、情報伝達が改善されるということです。

また、琴引スキー場へ人工降雪機が導入されます。現有の製氷機への負荷を軽減し、15年の運用を図るとされています。このスキー場は、昨シーズンを除き、3万人以上の来場者があり、冬季間の雇用で町内に貢献しています。

雲南市掛合町にあるJA共同選果場が、老朽化で稼働困難になっていたことから、町内に共同選果場を新設することになりました。JA赤来経済センター内に設置されます。

メロンのほかパプリカやトマトも同じラインで選果が可能で、共選出荷による付加価値の増加や戦略作物の増産と品質向上が期待されます。

## 議員提出議案

### 参議院選挙制度に対する意見書

平成28年の参議院通常選挙において、初めて合区(島根県と鳥取県、徳島県と高知県)とされ、実施されようとしている。十分な議論もなく、47都道府県の一部にのみ合区を行うことは地方を軽視するものと言わざるを得ない。

一票の格差是正のみに捉われ、都道府県の枠組みを考慮せず合区して定数を算定したことは、国民主権を保障している選挙制度において、なし崩し的に国の在り方を変えることにつながる。また、政府が進める地方創生に逆行する。

国においては、地方からの視点が欠落した選挙制度改正を再度見直し、たとえ人口が少ない県であっても、代表者が確実に参議院議員に選出されるような、参議院の在り方を含めた抜本的な制度改革を行うよう強く要請し、以下の事項について要望する。

- 1、人口格差のみに捉われず各都道府県に議員を選出する制度を構築すること。
- 2、制度改正において合区を決して行わないこと。
- 3、1及び2の事項を念頭に置いて、二院制の在り方や参議院の果たすべき役割を十分に認識したうえで、必要な見直しを行うこと。

## 可決された主な議案

### ■条例関係

飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定など5件

### ■承認

平成27年度飯南町一般会計補正予算(第9号)など3件

### ■補正予算

平成28年度飯南町一般会計補正予算(第1号)など4件

### ■諸議案

- ・平成28年度飯南町防災行政無線整備工事請負契約の締結など4件
- ・公の施設(頓原ラムネ銀泉)の指定管理者の指定など3件

### ■報告

飯南町一般会計及び飯南町簡易水道事業特別会計繰越明許費の報告など2件

## 陳情

畑田東水路の改修についての陳情

〔陳情者〕

飯南町畑田68番地

代表 畑田自治会長

朽木博文

〔審査委員会〕 教育経済常任委員会  
〔審査結果〕 継続審査

## 【平成28年度 一般会計補正予算】

健康増進施設(ラムネ銀泉)の指定管理料・農作物鳥獣被害防止事業・共同選果場整備支援・琴引スキー場設備費など

### 2億4392万円増額

各会計		補正予算額	予算総額
一般会計		2億4392万円	79億7307万円
特別会計	簡易水道事業	9万円	4億9146万円
	下水道事業	7万円	4億7268万円
	介護保険サービス事業	47万円	2916万円

# 一般質問

6月定例会



内藤 眞一議員

## Q 防災対策を問う

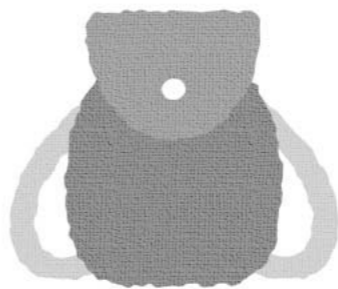
熊本地震による被害は甚大だった。本町の防災対策について問う。

熊本地震を受け、国・県等から体制等の変更や追加的対応の指示があったか。

中国地方の梅雨入りを受け、大雨・洪水・台風等への対応体制や町民への告知、伝達手段が途絶した時の周知方法は確立されているのか。

さらに、災害対策本部と各自治区の相互連絡体制は整備できているのか。

また、町が整理した告知・組織、避難等について、自治区長会で再度周知するのか。



## A 防災意識啓発し 協働整備を

町長 山崎 英樹

熊本地震の発生によって、体制等の変更や新たな対応について、国からの連絡や通達はない。

異常気象時の災害対策本部設置などの体制は、マニュアルに基づき自動設置を定めている。

町民への告知もガイドラインによって、告知放送による注意喚起を行うなど確立している。今後は、本年度整備する防災行政無線で対応する。

自治区内の連絡体制づくりは、避難訓練などを通じ取り組んでいるが、地域により温度差がある。地域内連携方式の防災組織として、自ら考え取組むという意識の醸成を図り、地域と行政が協働して整備していきたい。

周知については、区長会で徹底する。

## Q 頓原の通学路 整備を

通学路のカラー舗装による「みなし歩道」としての整備が図られているが、由来八幡宮から万対橋間が未整備であるので整備を望む。

## A 関係機関と検討

町長 山崎 英樹

指摘の区間は、次の事業計画で、学校、教育委員会、警察等と協議・検討したい。



カラー舗装を歩き登校する児童

## Q 落石防止対策を

邑南町内の県道で落石があり、死亡事故が発生した。

本町でも、落石防止対策を求める陳情が出されている。費用対効果という問題もあるが、早急な対策を求める。

## A 早期実現に努力

町長 山崎 英樹

費用対効果という指摘があったが、そのところが大きなネックになっている。有効な財源確保を含め、早期に実現できるよう引き続き努力する。



崩れかけた町道法面

# 一般質問

6月定例会



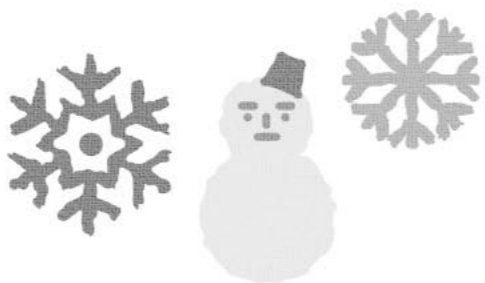
難波 俊司 議員

## Q 大雪対策は 万全か

本年1月、短期間に降り続いた雪は1・2メートルに達し、除雪も出来ない箇所が発生した。このような大雪の際、町内の積雪、道路の状況や空き家、高齢者宅等の状況を把握することが重要だが、どのような方法で把握しているか。

また、大雪のため除雪できない時の火災、急病、雪崩等による家屋の倒壊、長時間にわたる停電の対策は十分できていないと思うが、現状を問う。

緊急時には消防団への出動要請が必要だが、災害、救助に向かうには、除雪用スコップ、雪輪、けが人・病人等を搬送するスノーボードなどは必需品と思うが、準備はどうか。



## A 備えは整える

町長 山崎 英樹

積雪量、道路の状況の把握は、朝4時頃職員が現地に行き、目視で確認している。

消防団に出動要請する場合、現時点で必要な道具等は分団に配備されていないので、それぞれの家庭にある物を使って頂く。

大雪の備えは公で対応するもの、個人で対応すべきものなどがあるが、行うべき対策は取っていく。

## Q 空き家対策は どうか

年々空き家が増加している。同じ空き家でも管理されていれば問題ないが、5年・10年と放置されたものも少なくない。空き家になってからどの位経過しているのか、建物の状態はどうか、誰が管理しているのかなど、町やその地域がしっかりと把握しておくことは大事だ。

ますます増える空き家に対する考えを問う。



放置された家屋

## A 充分な対応 できてない

町長 山崎 英樹

残念ながら、空き家が増加している状況の中で、対策は十分でない。

国が定めた空き家対策特別措置法に従い、本町の空き家等対策計画を策定し、これに基づいて対応していくことになっっているが、まだ策定に至っていない。

計画を策定し、適正な管理が出来るよう努める。



# 一般質問

6月定例会



長島 正一 議員

## Q 若者のリーダー養成を

将来の地域を担う若者の姿や、リーダー養成のあり方が見えない。  
近年の「まちづくり」は、行政主導から住民参加型の重要性が指摘されている。  
次期リーダーの養成は、喫緊の課題ではないか。

## A 若者主体の会議を

町長 山崎 英樹

産業能率大学との連携により「イノベーション人材セミナー」を開催し、将来の企業経営者の育成を行う。

若者の交流の場を広げていく施策として、若者が主体的に考える飯南町会議の設置を考えている。

【イノベーション／Innovation】

「新機軸・革新」  
新製品・新生産方式・新市場開拓・新組織の形成などで、経済発展や景気循環がもたらされるという概念。

## Q 赤名小改修の行方は

赤名小学校の大規模改修事業は、昨年に続き当初予算に計上されたが、不採択となり、町民から厳しい声がある。  
今後の対応を問う。



## A 9月内示に向け努力

教育長 安部 亘

昨年は、夏休み中の改修工事を想定し予算計上したが、国の補正予算で採択されたが、次年度への繰越しは認められていない。

年度内の完成は困難と考え、校舎を先送りし体育館のみ改修した。今年度も引き続き要望したが不採択だった。

昨年の例もあるので、今後事業採択に向け、国・県に強く要望していく。



赤名小学校運動会

## Q 福祉充実でまちおこしを

過疎・高齢化の町で、福祉に力を入れることにより、地域に補助金など資金が流入し、町の財政負担が軽減される。  
結果、若者の雇用が生まれ、移住者が増加したとの事例がある。

## A 大きな雇用の場

保健福祉課長 小玉 千恵

病院の病床稼働率は81.3%。人口に占める高齢者福祉施設定員は全国平均の6倍と大変恵まれた環境で、町民の安心な生活を確保している。

病院、それを取りまく施設は従業員300人を超える雇用の場となっている。

## A 地域包括医療・ケアの体制を構築

町長 山崎 英樹

保健・医療及び在宅ケア・リハビリ、介護を含む福祉サービスを一体的に進める。

また、広く情報発信し、医療・介護・福祉の人材が集まる仕組みをつくる。

# 一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

## Q 落石事故を教訓に

邑南町での落石死亡事故は、安全対策が施され、日常点検も実施されていた箇所での事故であり、本町も点検や対策を再検証すべきと考える。安全点検の現状、徹底した点検方法・安全対策への考えを問う。

土木行政は、生活に身近な小規模事業を優先してこそ、地域経済や雇用が守つていけると考える。現在は新規の建設重視だが、これからは修繕・維持・管理を中心とした内容に転換することが重要と思う。  
きめ細かい改善・補修事業の実施できる地域密着型の管理体制を構築することも重要だがどう考えるか。



## A 意見を聞きながら対応

町長 山崎 英樹

週1回、2名一組でパトロールしている。全路線1日での点検は不可能で、現場へ出かける際はパトロールしながら点検している。住民からの通報もお願いしている。詳細で精度の高い点検のため、建設業協会にも依頼している。

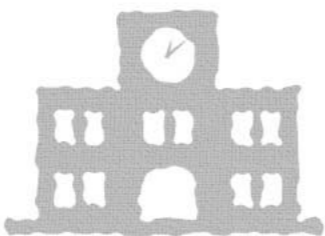
県の落石事故再発防止検討委員会の答申・結果を参考に、重大事故防止に努力する。

提案のとおり、土木行政の考え方は、新規の改良から既存の施設の長寿命化、修繕維持・管理中心への移行が求められる。住民の意見に傾聴しながら進める。

## Q 就学援助制度の改革を

就学援助の周知をホームページ・広報誌・就学案内の書類に記載、各学校に対して書面で周知、教職員・保護者向け説明会など、多様に行っている自治体がある。周知漏れに留意が必要。誤解や偏見のない制度にするため、教職員・保護者向け説明会の実施は重要項目と考えるがどうか。

入学時の学用品費は、準備段階で支給されてこそ就学援助の名にふさわしい。  
3月に支給する自治体もあるが、それでも遅いと思う。保護者が準備を始めるときに支給できないか。修学旅行費も同様で、負担前の受け取りと負担後とは大きな差がある。事前支給を検討すべきである。



## A 周知・支払いを検討

教育長 安部 亘

新入生については、入学案内の時、周知したい。在校生は、これまでの方法で良いと思う。学校・教職員は、校長会等で、PTA・保護者は、PTA総会などで協議する。  
学用品費・通学用品費は直接支払いにしたい。支給時期も前向きに検討する。

# 一般質問

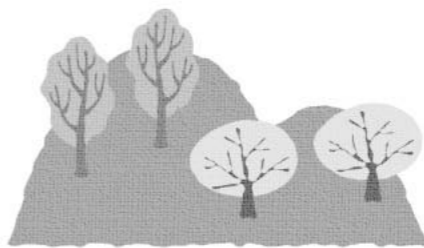
6月定例会



高橋 英次議員

## Q 落石危険箇所への対応は

邑南町内の県道において、落石が軽乗用車を直撃し、死傷者を出す事故が起きた。本町でも、児童生徒の通学路、高齢者の生活道、災害時の避難経路など、落石・土砂崩れが予想される箇所があると思うが、被害が及んでからでは遅すぎる。どういった対策を講じているのか。



## A 調査結果を有効活用

町長 山崎 英樹

事故の報道を受け、管内全路線(370路線、延長286km)の総点検を、延べ3日間行った。さらに地元を熟知している建設業協会に依頼し、より精度の高い点検を行ってもらっている。協会の協力体制に心より感謝している。調査結果を待ち、防災工事の必要性の検討や、パトロールの強化策、要監視路線の区分けなど、危険予知の資料として、有効に活用する。また、台風シーズンや大雨など異常気象の場合、特に慎重にパトロールを行うよう指示している。

## Q 福祉避難所の重要性

災害時に、住民が避難する、指定避難場所は各地区にある。しかし、高齢者・障がい者・傷病者・妊婦など、いわゆる災害弱者、あるいは、要援護者が二次避難する福祉避難所は、本町ではどうなっているのか。その有無と、防災計画に載っているのか問う。

## A 防災計画への掲載はこれから

町長 山崎 英樹

福祉避難所は、都道府県の判断により、災害救助法が適用され、避難が長期化する場合に開設する。本町では、平成24年11月1日に、保健センターを福祉避難所として位置づけているが、飯南町地域防災計画への掲載はまだだ。本年度の地域防災計画の見直しの一項目として、適切に整理していく。



福祉避難所となる保健センター

DEBATE

# 討論

## 琴引スキー場外臨時

管理費 1億100万円

このうち、9900万円余はスキー場設備工事費。内容は人工降雪機1基の設置、圧雪車の更新、給水・排水・電源の各設備費など。

## 反対討論 伊藤 好晴議員

スキー場の存在を否定するものではないが、製氷機はあと15年稼働すれば、35年も動くことになる。メンテナンスで15年間運用期間を延ばせるという説明に疑問がある。

製氷機はフロンガスを使用しているが、大気中に放出すれば環境破壊につながる。環境保全に逆行することは地方公共団体のすべき事ではない。指定管理料を支払うため

## 賛成討論 高橋 英次議員

このスキー場からジュニアレーシングチームが育ち、スキー競技による団体やインターハイなど、全国大会への出場者数は、県内トップとなっている。

経済効果や雇用の創出、外国人観光客の招致など、琴引スキー場の果たす役割は大きい。

適切なメンテナンスにより、長寿命化を図り、維持していくべきものだ。

に指定管理制度を導入しているのではない。



琴引スキー場

全19議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	高橋英次	早樋徹雄	内藤眞一	熊谷兼樹	門眞一郎	長島正一	永井章	伊藤好晴	難波俊司
平成28年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○

## 意見書の採決結果

参議院選挙制度に対する意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○賛成 ●反対

## 新議場誕生 皆様の議会傍聴をお待ちしています

平成28年6月定例会は竣工したばかりの飯南町役場新庁舎の議場で行われました。

真新しい議場は防音装置が施され、旧庁舎のように国道54号を大型トラックが通過したり、サイレンが鳴ったりすると声が聞こえなくなるようなことはありません。雑音もなく静かな空間で、議員と執行部の議論が繰り広げられています。かといって、決して閉ざされた空間ではありません。町民の皆さんが耳を傾けていただくための傍聴席を用意しています。



傍聴席

をご利用ください。平素から勉強し、町民の皆さんの声から課題をあげ出し、先進地視察などを通じて解決策を見出し、政策提言してまいります。どうぞ議会傍聴に来ていただき、議員を叱咤激励・応援してください。お待ちしております。



質問席



答弁席



傍聴席



中山間地域研究センターで研究飼育されている鹿

### 教育経済 常任委員会

委員長 長島 正一

#### 平成28年度 飯南町一般会計補正予算

##### 農作物鳥獣被害防止事業 3,805万円増額 (ワイヤーメッシュ、電気柵など)

事業費負担率は、国1/2、町1/3、受益者1/6。  
集落の事業導入には、管理体制づくりや鳥獣被害対策実施隊との連携が必要。非農家にも周知し、集落一体の取組を求め、柵は協議会で一括購入により現物支給をすべきと意見した。

##### 共同選果場整備支援事業 6,000万円

JAの米倉庫へ選果設備を設置し、メロン・トマト・パプリカのスムーズな選果と生産拡大を図る。  
作物の増産が前提となっており、JAの指導体制の強化や直売所等での販売強化が必要との意見があった。  
JAに応分の負担を求めることが決まっている。

##### 社会教育施設費 2,700万円

頓原公民館へ太陽光発電設備を設置するもので、蓄電して使用する。鳥根県再生エネルギー等導入推進基金の全額助成で行う。  
目的は、消費電力の抑制と非常時に電力供給を図るため、停電時に3~4日間の電力供給が可能との説明があった。

#### 琴引スキー場臨時管理費 1億108万円

スキー場設備工事や人工降雪機1基・圧雪車の更新等の費用。  
本町への経済効果(約4億3,900万円/町試算)及び交流人口の拡大、町のスポーツ振興等から継続が検討され、今年度の整備計画が示された。  
来年度2期工事の予定額は、1億1,600万円。  
人口造雪機の耐久性や、自治体がフロンを使用することを懸念する意見があった。また、ランニングコストを考えた運営努力を求めた。  
今後15年間の運用を前提に検討されている。



スキーを楽しむ来場者

## 議会全員協議会の議題

- 5月10日
  - ①頓原小学校職員の信用失墜行為の報告
- 5月24日
  - ①国際交流員の紹介
  - ②総合交流ターミナル、農産物加工施設の運営説明
  - ③鳥獣被害対策総合交付金の説明
  - ④共同選果施設の整備説明
  - ⑤琴引スキー場の運営説明
  - ⑥出産祝い金及び子育て世帯給付金の説明

- ⑦町道における倒木事故の報告
- ⑧職員の不祥事案の報告
- ⑨頓原公民館(複合施設)の建設予定の説明
- ⑩赤名小学校の大規模改修工事の報告
- ⑪役場事務分掌等の報告
- ⑫強風被害の報告
- 6月17日
  - ①参議院議員通常選挙の執行の説明
  - ②飯南高校県外生ホストファミリー制度の説明



ラムネ銀泉の配電盤説明を聞く委員

### 総務厚生 常任委員会

委員長 早樋 徹雄

#### 平成27年度 飯南町一般会計補正予算

審査意見を付した。

##### 審査意見

専決処分の承認(平成27年度飯南町一般会計補正予算)  
6月定例会に提出された3月末専決処分において、減額補正が安易に行われている事業が散見される。  
予算の執行状況を十分把握し、適切な時期に予算計上を行うよう留意されたい。

#### 飯南町防災行政無線整備工事 請負契約の締結

町防災行政無線を整備する。事業費は3億836万円。受注者は(株)日立国際電気中国支社。



防災無線スピーカー

#### 平成28年度 飯南町一般会計補正予算

##### 災害対策費 80万円

谷自治振興会の災害時非常用発電機と照明施設整備への助成で、財源は全額宝くじ事業のコミュニティ助成事業を活用する。  
公民館単位、すべての地区への整備を求めた。

##### 子ども子育て支援対策事業 350万円増額

第3子以降の出産祝い金、子育て世帯給付金の説明があった。子育て支援策の積極的な周知を求めた。

##### 健康増進施設運営経費等 490万円

ラムネ銀泉の運営管理を7月から指定管理者で行うための指定管理料9ヵ月分、施設修繕費など。  
貴重な資源を生かし、地域の活性化につなげるよう意見があった。



スロープ付き浴槽

##### 医療従事者等確保対策助成制度について

卒業後の従事猶予期間が長すぎるとの意見があり、検討するとの回答があった。(卒業後5年以内に助成期間と同年以上の就労を求めている)

## 議会活動報告 [4月~6月]

- 4月
  - 4日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
  - 8日 議会広報編集委員会:紙面校正作業
  - 22日 議会研修会:TPP合意内容、影響と今後の展開
  - 27日 総務厚生常任委員会:閉会中の調査
- 5月
  - 10日 議会全員協議会・教育経済常任委員会:閉会中の調査
  - 23日 議会運営委員会:諮問に関する事項
  - 24日 議会全員協議会

- 6月
  - 3日 議会運営委員会:6月定例会の提出議案、日程外の協議
  - 7日 6月定例会:本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託
  - 10日 :本会議、一般質問
  - 13日 :委員会審査
  - 14日 :委員会審査
  - 15日 :委員会審査
  - 16日 :委員会審査、予算特別委員会審査
  - 17日 6月定例議会:本会議、委員長報告(質疑)、討論、採決・議会全員協議会
  - 23日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
  - 27日 議会広報編集委員会:編集作業

# 自然農法の良さを伝えたい

宮本 智泰さん かおりさん

頓原の小才田地区で自然農法に取り組んでいる宮本夫妻に聞きました。

## 自然農法との出会いは

小才田へイターンして農業を始めようと思い、夫婦それぞれ別の農家で研修を受けていました。エコ基準にしたがつて消毒するのですが、思っていたより農薬使用が認められていると感じました。それで自分たちが就農するときは、農薬を使用しないで済むなら、そういう農業をしてみたいと思うようになりしました。

ちょうどその頃、飯南町で炭素循環農法の研修会が開催され、参加して勉強しました。とても難解な農法でしたが、



夫が以前、しいたけ農家で研修したことが有り、菌のことを理



ブルーベリーの実

解していたので取り組めそうな気がして挑戦しました。今は試行錯誤のくり返しで、うまくいったら次に進んで、そうでなければ他の方法を探すというやり方をしています。今年ブルーベリーが初めてたくさん実をつけて、どのくらい収穫できるか楽しみです。  
**自然農法の魅力は**  
原種や自然農法に適した種子などを譲ってもらっています。最近、植物を育てるための水が味に影響することを知り、住む場所や農地を選ぶとき、水は大切だと感じています。

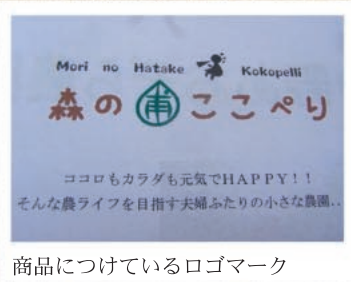
丹精込めて作った野菜などをどんな人に食べてもらいたいですか

以前は食の安全や自然農法のことばかり考えていませんでした。昨年、夫が病気をしたのが契機となって、食の大切さがわかるようになりました。

買っていただけの人に、食べることの大切さを強く訴えた頃もありましたが、今は自分の主張を押し付けることはやめました。

私たちが自然農法で作った野菜などを食べてもらい、少しでも幸せな気持ちになってもえればそれでいいと思っています。

**ゴールはどこにあると思いますか**  
病気をすることがきつかけとなって、欲がなくなり、毎日生きていることが幸せだと感じるようになりました。だから、ゴールはこの土になるときかなと思っています。



商品につけているロゴマーク

今月の表紙写真



新庁舎の議場で初の定例会となりました。改めて私たちが担う職責大なると思うところです。さて、中山間地域での共通課題は定住促進ですが、幸い本町は、役場や地域の努力もあって社会人口が微増しています。昔から定住には「医・職・住」の3つが必須と言われていますが、現在は多様な価値観があり、既成概念が通用しません。より一層の努力が求められます。

## 編集後記

入梅しましたが、当地では今のところ少雨傾向です。しかし、熊本地震被災地は豪雨に見舞われ、九州は大変なことになっています。反面、関東地方では、取水制限されている河川があるとのこと。

梅雨前線の動きも平年とは違うようで、平成18年の気候によく似ていると言われています。今更ながら、異常気象に腹立たしくなってきました。

その年は、松江市内が浸水しました。全国各地で大雨による災害が起きた年です。梅雨明けも遅く、7月末ではなかったかと思っています。公共事業が少なくなっていますが、災害はあってはなりません。大雨や土砂崩れなどに、万全の準備と心構えが必要だと思います。大きな災害が起こらないよう祈るばかりです。

議会広報編集委員会 伊藤 好晴